



令和5年7月15日

校長室から

No. 9

今回は「子育ては誰のため」について考えます



みなさん、「子育ては大変ですか?」「楽しいですか?」どちらかといわれても、答えにくい質問ですね。私は、あまり子育てにかかわらない父親で終わってしまいました。そのせいか、思春期には随分と冷たい対応をされたこともありました。仕事にばかりに気が行って、よくなかったなと反省する反面、そのことを許してもらった家族に感謝している面もあります。

私自身は5人家族で、両親と3人兄弟でした。兄と弟がいて、次男坊でした。兄弟と比べ勝手な行動が多かったので、母は私の子育てに苦勞したと思います。社会人になっても、兄と弟は割と早くに結婚して家を出たので、いつまでも実家にいる私を心配していました。私がいよいよ結婚することが決まったとき、これで母親からいろいろ言われなくて済むかと思っていました。ところが、その後も心配は続いたようです。その心配がなくなったと感じたのは、私に子供が生まれた時でした。母から「人間は子供を育てて初めて一人前の大人になる」という言葉をかけられ、なるほどそういうことか!と思いました。いよいよ自分の子供が子育てにかかわったので、親としての心配はしなくていいと考えたのかもしれませんが、子供たちにはとても厳しい母でしたが、孫にはとても甘いおばあちゃんになっていきました。

最近の世の中は昔と違って、コンプライアンスという言葉が独り歩きをしているように感じます。「目に見えないきまり」がたくさんあるように感じます。「〇〇してはいけない」「△△でなければならない」という風潮が強く、子育てに悩みを感じる方が多いのではないのでしょうか?子供の行動は親の責任ということも強くなっているように感じます。昔は、子供に対してだれもが厳しく怒ったのですが、親には「子供のしたことですから」「お互い様ですよ」「〇〇するといいかもしれないよ」などと、子供の起こしたトラブルを通してコミュニケーションが生まれ、お互いの信頼関係が結ばれたように感じます。子育ては、自分だけをするのではなく、みんなで見守るという考えが親にとっても子供にとってもいいのではないのでしょうか?子供の姿は、自分の子育ての結果ではないと思います。つい、よい結果を出そうと思い親として頑張り過ぎていませんか?そこには子供自身の気持ちや、本人の成長につながらない大人の考えを押し付けていないのでしょうか?



子供を育てるということは、「一人前にする」ということが目標であって、大人になったときに自信をもって生きていける力を身に付けさせてあげることが大人の責任だと思っています。自分で考えさせたり、自分で行動を選択させたり、自分の行動に責任をもたせたりして、何事も自分事としてとらえたくましく生きていける子供を育てていきたいものです。自分とは違う人格をもつ子供を育てることは大変です。思い通りにいかないこと、苦勞することもたくさんあります。それは一人の人間として尊重するからこそ生じるものでもあるでしょう。でもその結果、一人の人間としてリスペクトし合える大人になってくれたら、親としてこれ以上嬉しいことはないでしょう。

先日の父の日に、私の好きなコーヒーのセットを子供たちからもらいました。「そんなに気にしなくていいのに」と伝え、「勝手にやってることだから気にしないで受け取って」といわれ、なんだかうれしくなりました。私の母から教わった「人間は子供を育てて初めて一人前の大人になる」ができたかはわかりませんが、嬉しいひと時でした。